

- (病院)
- 様

第42回大分県病院学会 演題番号通知

ご登録いただいた演題は口演発表に決定いたしました。

演題番号： E●

*演題番号先頭のアルファベットは発表会場、2・3番目の数字は発表順を示します。

*演題番号通知書類一式の到着確認も兼ねておりますので、内容をご確認後、メール本文下部の連絡票に必要事項をご記入いただき7月15日(月)までにご返信ください。

1. 発表までの準備について

(1) 登録内容の確認

添付ファイルの最終頁のプログラム(案)にて発表会場と発表順番、記載内容をご確認ください。記載ミスや変更等がありましたら、連絡票の「その他連絡事項」欄にご記入ください。

(2) 発表準備

発表原稿は8分でご用意ください。口演発表は原則マイクロソフトパワーポイント(以降PPTで表記)を使います。下記の規定に沿って作成してください。

(3) 事前参加登録の申込

発表者も参加登録が必要です。会員病院を通じて事前参加登録をしてください。事前参加登録をお申込みいただかないと、抄録は届きません。

病院附属施設(クリニック等)に所属の方は、貴院のご担当様へご確認をお願いいたします。

(4) 参加証・抄録集受取

学会開催1か月前に会員病院様へまとめて抄録集を送ります。抄録集を受け取られましたら、ご自分の掲載事項や発表時間帯などの確認をお願いします。また、今後の予定は抄録集の「学会参加の皆様へ」の頁でもご確認ください。

(5) PPTファイルの作成について

① PPTのデータについて

原則としてバージョン2010以降(拡張子.pptx)にて作成してください。動画を使用される場合は、必ずパワーポイントへ動画ファイルを直接挿入(埋込式)してください。

② スライドのサイズについて

原則、ワイド画面(16:9)にて作成してください。

③ 発表者ツールについて

発表者ツールの使用を推奨いたします。ご使用にならない場合は当日受付にてお申し出ください。

(6) PPT事前提出について

① 提出期限 9月9日(月) 事務局必着

PPTスライドファイルは必ず事前に事務局までご提出ください。会場パソコン(以下PC)に載せてご用意します。PPTを使用しない場合は、同封の連絡票にて事務局までご連絡ください。

② 提出方法 (以下、***は自分の演題番号を示します)

◎ Eメール添付の場合

[宛先] oha2@oitahospitals.jp

[件名] 学会PPT提出 演題番号:***

[本文] 病院名、発表者名、連絡先電話番号

[添付] ***.pptx (もしくは***.ppt)



PPT 画像圧縮方法



大容量ファイル転送サービスの利用方法

○PPTファイルのサイズは原則5MB以内とします。PPT等の画像圧縮機能をご利用ください。また、動画をご使用の方でサイズが大きくなった場合は、インターネットの大容量無料ファイル送信サービス（ギガファイル便、データ便、おくりん坊 等）のご利用も可能です。

○送信後2～3日経っても返信がない場合は、お電話にて事務局までご連絡ください。

◎ 郵送、宅配の場合

○提出メディアはCD-R、若しくはDVD-Rにてご提出ください。但し、汎用に再生できるようにファイナライズ等のセッション終了を行ってください。なお、提出されたメディアの返却は致しません。

○封筒およびメディア本体に「学会PPT提出」「演題番号：***」を、さらに封筒に「病院名」「発表者名」を明記して事務局宛にお送りください。

(7) その他

LINE登録のご協力をお願いします。事務局からの連絡に使用します。6月18日（火）までに右のQRコードを読み込み、トーク画面に**演題番号**を入力され送信ください。学会終了後には学会アンケートをお送りしますので、その後、事務局のトークルームを削除してください。何卒ご協力のほどお願いいたします。



事務局LINE

2. 口演発表当日について

(1) 受付

8時から11時までの間にエントランス「発表者受付」にて必ずPPTの動作確認を行ってください。**発表会場では動作確認はできません。**その後、「記章」をお受け取りください。受付時間に間に合わない場合は、11時までに大会本部までご連絡ください。その際は演題番号とお名前をお知らせください。

◎大会本部 TEL 097-540-5526 若しくは080-6448-9405（SMSも可）、LINE

(2) PPT差替え

受付時間内にUSBメモリー若しくはCD-R、DVD-Rで持ち込んだ場合のみ対応します。サイズは原則5MB以内とします。なお、**発表会場では差替えできませんのでご注意ください。**USBメモリーについては、各自で必ずウイルスチェックを行ってからご持参ください。CD-R、DVD-Rの場合は汎用に再生できるようにファイナライズ等のセッション終了を行ってください。差替えにより発表時に不備が発生した場合等のトラブルには実行委員会では責任を負いませんのでご了承ください。

(3) 事前打ち合わせ

12時50分より会場責任者からの説明、および座長との打合せがありますので、**必ずご出席ください。**発表の流れを次ページの「発表者 連絡事項」を元に説明しますので、こちらを必ずご持参ください。打合せ終了後、13時00分より開会式がありますのでご参加ください。

(4) 発表時間・発表形式

発表は8分、質疑を含めて10分です。進行は座長・進行係の指示に従ってください。

PCを演台に設営していますので、発表者がPPTの操作をお願いします。補助が必要な場合は各自でご手配ください。その際のPCの移動は座長による発表者紹介時間内に行ってください。

(5) リミタイマー（デジタル計時回線）について

発表進行はリミタイマーを使用し、座長・発表者へ時間を通知します。開始後7分で通知音（黄色点灯）、8分で通知音（赤点灯）にて合図します。

以上

《お問合せ先》 一般社団法人大分県病院協会 事務局
〒870-0100 大分市大字駄原 2892-1 大分県医師会館5F
TEL:097-540-5526 ・ FAX:097-540-5597
E-MAIL: oha2@oitahospitals.jp (学会)

一般演題プログラム

【 □演 E会場：国際会議室 】

分科会開会式 13時00分

演題 番号	登録 番号	【カテゴリ】 項目	演題 副演題	会員病院名 発表者 (職種)
1座 13:10～14:10				
E01	4	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	ウエルウォークが有効であった生活期脳卒中患者の一例 ～通所リハビリ利用者へのウエルウォーク導入～	別府リハビリテーションセンター 伊東 祐輔 (理学療法士)
E02	23	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	修学旅行参加による脊髄損傷児の日常生活活動の調査 ～理学療法士が修学旅行へ帯同する意義～	明野中央病院 鞭馬 貴史 (理学療法士)
E03	48	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	拘縮のある患者の皮膚トラブルへの取り組み ～不織布ガーゼと緑茶ガーゼを比較して～	黒木記念病院 上川 孝介 (看護師)
E04	10	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	体幹代償運動を抑えることで手指機能が改善した一症例	別府リハビリテーションセンター 福澤 至 (作業療法士)
E05	34	【治療・リハビリテーション】 訪問リハビリテーション	攻めの訪問リハにより要介護度軽減化した一例 ～頻回訪問で寝たきり脱却を目指す～	明野中央病院 大石 朋香 (理学療法士)
E06	27	【治療・リハビリテーション】 訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション利用者へのアンケート調査 ～目標の理解度が効果の実感にもたらす影響について～	黒木記念病院 立石 雄真 (理学療法士)
2座 14:20～15:10				
E07	26	【治療・リハビリテーション】 栄養	多発褥瘡と摂食機能障害を併発した患者の栄養管理 ～おいしい の一言の為に～	大分リハビリテーション病院 水田 早智 (管理栄養士)
E08	88	【治療・リハビリテーション】 栄養	入院生活でも食事を楽しみと思えることを目指して ～行事食カードと郷土料理の取り組み～	井野辺病院 原田 美穂 (管理栄養士)
E09	110	【治療・リハビリテーション】 栄養	中等症COVID-19患者の栄養管理	大分岡病院 三宅 珠生 (管理栄養士)
E10	118	【治療・リハビリテーション】 栄養	当院における絶食患者の食開始への取り組み ～周術期栄養管理における栄養士の関わり～	佐伯中央病院 佐保 香奈 (管理栄養士)
E11	114	【治療・リハビリテーション】 栄養	思春期女子アスリートにおける疲労骨折への取り組み	五反田病院 羽野 裕介 (理学療法士)
3座 15:20～16:10				
E12	80	【5疾病5事業】 急性心筋梗塞	急性心筋梗塞後の患者の行動変容ステージモデル	大分循環器病院 秋村 楓 (看護師)
E13	86	【5疾病5事業】 精神疾患	クロザリル治療が及ぼす作業療法参加数と内容の変化	大分丘の上病院 安部 俊輔 (作業療法士)
E14	14	【治療・リハビリテーション】 その他	地域包括ケア病床における自主練習の導入と課題	畑病院 金田 七海 (理学療法士)
E15	66	【治療・リハビリテーション】 その他	外来リハビリ患者に歩行ロボットを活用した1症例	和田病院 瀬戸 亮一 (理学療法士)
E16	91	【治療・リハビリテーション】 その他	リフレーミングを導入した個別心理教育の取り組み —統合失調症患者の行動変容—	大分丘の上病院 四ツ谷美孝 (看護師)